

# 【参考情報】 他社事例



株式会社システムズ

## （1）弊社が理解しているお客様の課題

### ◆ ECサイトのフロント側は刷新したが、バックエンドのシステムが老朽化している。

- ・ 取り扱い商品企業のセキュリティ基準を満たせていない
- ・ システム停止のリスクがある
- ・ フロント側のみ刷新したことにより、逆に運用が煩雑になってしまった

### ◆ システム間のデータ連携を人手で運用している部分が多い。

- ・ 属人化、運用ミスリスクがある

### ◆ 長年使用し続け、不要な機能／不要な資産が含まれている。

- ・ 移行コスト、維持保守コストの増加

※不要な機能：3拠点別のDBを夜間で1つに集約する機能など

※不要な資産：システム内でどこからも起動されていないプログラム

### ◆ パッケージの導入が中断してしまった。

- ・ 急な（大幅な）業務変更が難しい

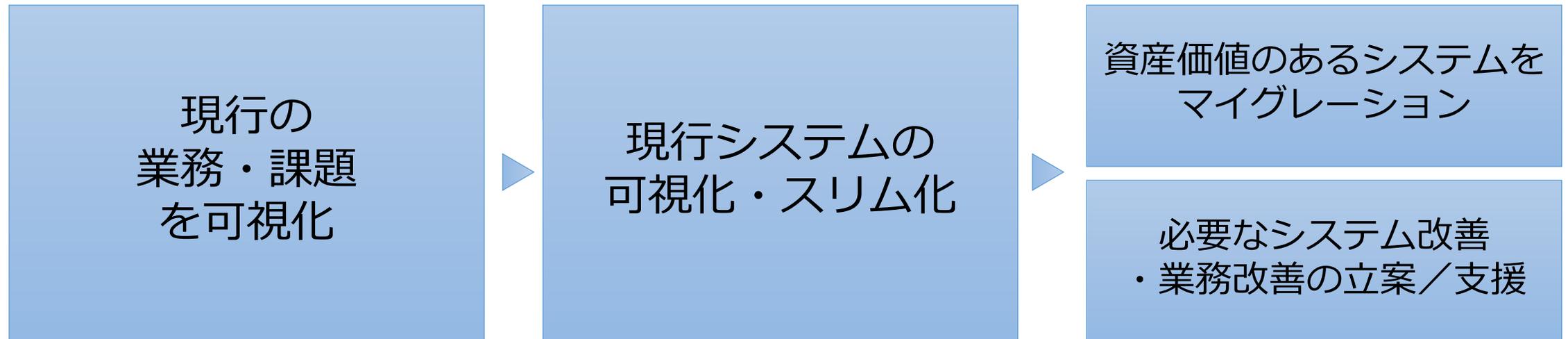
※パッケージに業務を合わせることが難しく、カスタマイズ費用が増大してしまう

# 1. 御提案の背景・方針（他社事例）

## （2）弊社の御提案方針

◆下記方針案で御提案させていただきます。

「急な（大幅な）業務改革ではなく、現状の課題を整理し、順序立てて改革を進める」



# 1. 御提案の背景・方針（他社事例）

## (3) 作業の流れ

大分類		作業内容	備考
現行業務／システムの可視化・スリム化	業務／システム全体の可視化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の全体像をA3用紙1枚にまとめる。</li> <li>・全体を俯瞰的に見て、課題を整理し、方向性を検討する。</li> </ul>	支援作業
	不要な機能／資産の可視化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在使用していない機能を整理する。</li> <li>・プログラムの中で呼び出されていない資産を整理する。</li> </ul>	
	プログラムのスリム化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用していない機能、使用していない資産を削除する。</li> <li>・削除したプログラムで動作確認を実施する。</li> </ul>	請負作業
マイグレーション	開発準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイグレーション計画書を作成する。</li> <li>・現行の動作環境、マイグレーション後の新動作環境を構築する。</li> </ul>	請負作業
	移行性検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模の機能に対してマイグレーションを実施する。（全体の5%程度）</li> <li>・新旧で同じ動作をするか確認し、変換内容を検証する。</li> </ul>	
	全体変換・比較検証テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行性検証で確立した移行手法を全機能に対して実施する。</li> <li>・新旧で同じ動作をするか確認し、変換内容を検証する。</li> </ul>	
機能改善	必要な機能改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行システム全体の可視化で検討した方向性に従って、要件確定／改善を実施する。</li> </ul>	請負作業
お客様作業	受入テスト・リリース準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務に沿った受入テストを実施する。</li> <li>・移行計画を立て、システム移行を実施する。</li> </ul>	支援作業
	本番稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場での本番稼働を開始する。</li> <li>・システム保守／維持改善を実施する。</li> </ul>	保守作業

## 2. 現行業務／システムの可視化・スリム化（他社事例）

### (1) 業務／システム全体の可視化

#### 【目的】

現行業務／システムが抱えている課題を明確化し、目指すシステムの全体像を共有する。

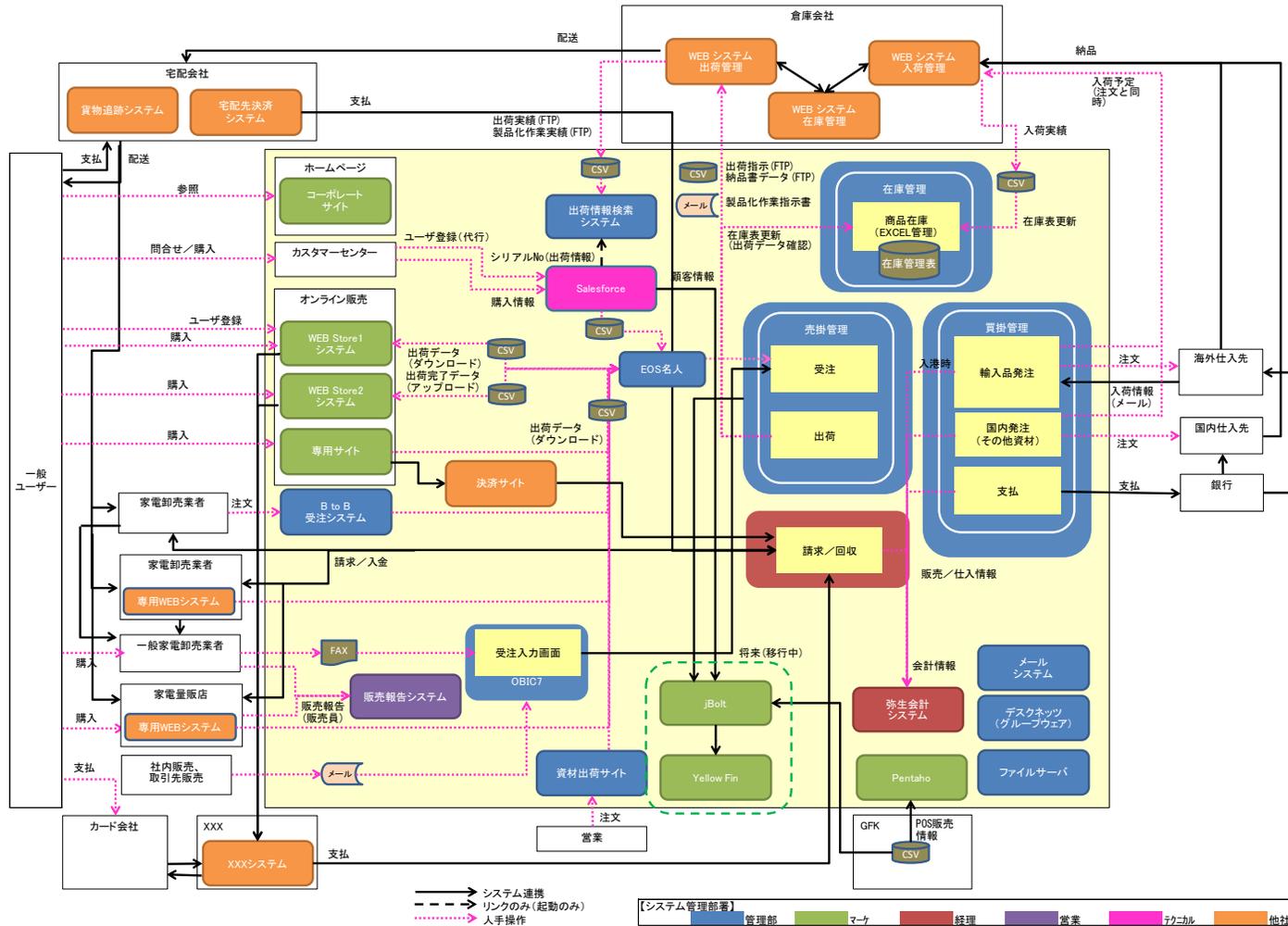
#### 【取組み内容】

- ✓ お客様の業務と使用しているシステムをヒアリングし、システム間の連携なども含めて全体像をA3用紙1枚に整理する。（全体を俯瞰的に見る）
- ✓ 全システムの動作しているOSや開発言語、データベース、サードパーティ製品のバージョン情報を整理する。
- ✓ 上記整理を行う中で、課題を一覧にまとめ、各システムの方向性を検討／決定する。

# 2. 現行業務／システムの可視化・スリム化（他社事例）

## 【アウトプット事例】

・ 海外家電製品 販売代理店様のシステム全体像可視化事例（システム連携図と課題の相関図）



- ◆ 再認識した課題
  - ・ システム間のデータ連携が人手で運用されている。
  - ・ システムに在庫管理機能はあるがExcelで運用されている。
  - ・ 各部門毎に必要なシステムが導入され、統一されていない。
  - ・ 顧客情報が各システムに存在し、一元管理されていない。

## 2. 現行業務／システムの可視化・スリム化（他社事例）

### （2）不要な機能／資産の可視化・プログラムのスリム化

#### 【目的】

現行システムから不要な機能／不要な資産を削除し、移行コスト、維持保守コストを削減する。

#### 【取組み内容】

- ✓ 現在のシステムで使用していない機能や不要な機能をヒアリングし、プログラムから機能削減が可能か調査する。
- ✓ 現行システムの資産（プログラム）を機械的に分析し、使用していない資産、重複した資産を明確にする。（ツールを使用して分析実施）
- ✓ プログラムから不要な機能／資産を削減する。

## 2. 現行業務／システムの可視化・スリム化（他社事例）

### 【受領資産の簡易解析結果】

項番	システム名	開発言語	資産数 (ファイル数)	KStep
1	Aシステム	VB6.0	79	48
2	Bシステム	VB6.0	3,498	2,271
3	Cシステム	VB.Net 2002	117	109
4	Dシステム	VB6.0	56	31
	合計	—	3,750	2,459

- ・ Bシステムについては、不要と判断できるバックアップフォルダが多数あり、その削除だけでも大幅に資産削減が可能。
- ・ 詳細分析することで、更なる削減が可能となる見通し。

# 2. 現行業務／システムの可視化・スリム化（他社事例）

## 【アウトプット事例】

・計測機器販売業様 不要機能の可視化事例

項番	メニュー区分	業務区分	機能	機能区分			使用要否	備考
				画面	帳票	バッチ		
1	本社	売上請求処理	請求書台帳	○	○		○	
2			売掛金台帳	○	○		○	
3			売上成績表	○	○		○	
4		月次処理	売上高集計	○		○	○	
5			入金処理(月次入金処理)	○	○		○	
6			計器経理データ作成	○		○	×	別機能でデータ作成
7			月次更新	○		○	○	
8		お知らせ	掲示板	○			×	グループウェアに移行済
9		DB管理	DB管理メニュー	○			×	別機能で管理
10	営業所	売上請求処理	見積書台帳(見積台帳)	○	○		○	
11			見積書一覧	○			○	
12			作業台帳	○	○		○	
13			作業台帳一覧	○	○		○	
14		発注在庫処理	部品依頼	○	○		○	
15			営業所間依頼	○			×	営業所間移動は無くなった
16			発注履歴一覧	○	○		○	
17			部品入庫処理	○			○	
18			部品出庫処理	○	○		○	
19			在庫一覧	○	○		○	
20		管理台帳	納入先台帳	○	○		○	
21			代理店台帳	○	○		○	
22			請求先台帳	○	○		○	
23			機種台帳	○	○		○	
24			測定ガス台帳	○	○		○	
25			測定範囲台帳	○	○		×	ガス台帳内に含まれた
26			社員台帳	○	○		○	
27		お知らせ	掲示板	○			×	グループウェアに移行済
28	在庫数低下警告一覧		○			×	自動発注機能で管理	
29	販売会社	売上請求処理	納品書出力	○	○		○	
30		発注在庫処理	計器受注(受注処理)	○	○		○	
31		発注在庫処理	計器出荷(出荷処理)	○	○		○	
32		在庫照会		○			○	
33		お知らせ	掲示板	○			×	グループウェアに移行済

・ITサービス業様 不要資産の可視化事例

言語種類		対象ステップ数		
		受領資産	不要資産	削減率
JAVA	JAVA	1,076,731	709,861	65.9%
	JSP	24,238	0	-
	HTML	392,836	0	-
ASP. NET	C#	238,066	63,523	26.7%
	ASPX	271,212	80,906	29.8%
C		283	283	100%
VB		155,627	126,724	81.4%
PHP		163,465	66,752	40.8%
Perl		74,524	3,041	4.1%
SQLServer	プロシージャ	968	0	-
合計		2,397,950	1,051,090	43.8%

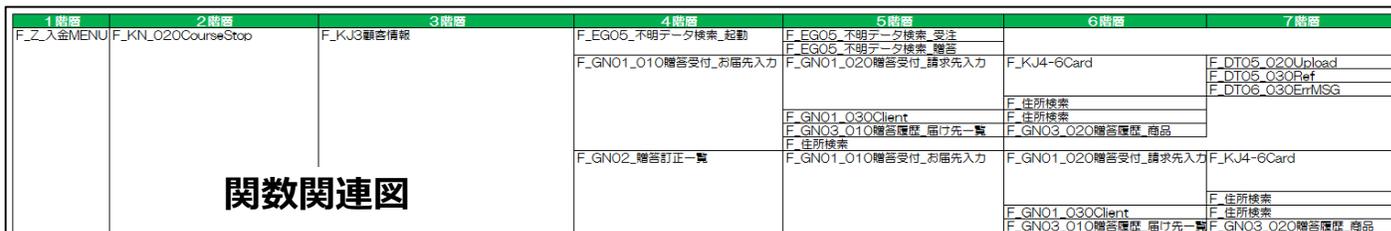
# 2. 現行業務／システムの可視化・スリム化（他社事例）



## 【アウトプット事例】

・化粧品通信販売会社様 資産可視化のサンプル

### 機能関連図



### 関数関連図

項目	1階層目	2階層目	3階層目
項目	オブジェクト名	関数名	オブジェクト名
1	F AA01 商品CD取得	Form KeyDown	
2		Form Open	mD Aシステム共通
3		Form Unload	mD Aシステム共通
4		OKボタン_Click	mD Aシステム共通
5		opceGoodsSort_AfterUpdate	F AA01 商品CD取得
6		カナ名様_AfterUpdate	F AA01 商品CD取得
7		キャンセル_Click	mD Aシステム共通
8		検索_Click	F AA01 商品CD取得
9		検索_Click	mD Aシステム共通
10		商品CD F_AfterUpdate	F AA01 商品CD取得
11		商品CD T_AfterUpdate	F AA01 商品CD取得
12		商品リスト_Enter	
13		商品リスト_Exit	
14		全解除ボタン_Click	mD Aシステム共通
15		全選択ボタン_Click	mD Aシステム共通
16		電話番号_AfterUpdate	F AA01 商品CD取得
17		部門CD_AfterUpdate	F AA01 商品CD取得
18		部門CD_Enter	
19	F AA02 KonpoNaivo	cmdAdd_Click	mD Aシステム共通
20		cmdClose_Click	
21	F AA03 010SystemUserList	cmdClose_Click	mD Aシステム共通
22		cmdDelete_Click	mD Aシステム共通
23		cmdNew_Click	mD Aシステム共通
24		cmdPass_Click	mD Aシステム共通
25		cmdUp_Click	mD Aシステム共通
26		Form_Close	
27		Form_Open	mD Aシステム共通
28	F AA03 020SystemUserEntry	cmdClose_Click	mD Aシステム共通
29		cmdOK_Click	mD Aシステム共通
30		cmdOK_Click	mD Aシステム共通
31		cmdOK_Click	mD Aシステム共通
32		cmdOK_Click	mD Aシステム共通
33		cmdOK_Click	mD Aシステム共通
34		Form_Close	
35		Form_Open	mD Aシステム共通
36	F AA03 030SystemUserPassUp	cmdClose_Click	mD Aシステム共通
37		cmdOK_Click	mD Aシステム共通
38		cmdOK_Click	mD Aシステム共通

### フォーム使用可否一覧

項目	フォーム名	入金業務 使用可否一覧
1	F_AA SystemStart	×
2	F_AA Import	×
3	F_AA01 SearchEvent	×
4	F_AA01 SearchEvent Sub	×
5	F_AA01 商品CD取得	○
6	F_AA02 KonpoNaivo	○
7	F_AA03 010SystemUserList	
8	F_AA03 020SystemUserEntry	
9	F_AA03 030SystemUserPassUp	
10	F_AA04 010SystemLogin	
11	F_AA05 010EventSub	
12	F_DK1 顧客削除(ド 入力)	
13	F_DK2 顧客削除確認	
14	F_DP 送り状印刷	
15	F_DP 送り状届先履歴	
16	F_DT01 010Juchulmp	
17	F_DT01 200 Kyk	
18	F_DT01 201 KykWK	
19	F_DT01 202 KykTM	
20	F_DT01 210 DateSet	
21	F_DT01 211 DateSetSub	
22	F_DT01 300 Nohin	
23	F_DT01 301 NohinSub	
24	F_DT01 310 Date	
25	F_DT01 311 DateSub	
26	F_DT01 320 WebShokai	
27	F_DT01 321 WebShokaiSub	
28	F_DT01 330 CsPresent	
29	F_DT01 331 CsPresentSub	
30	F_DT01 332 CsPresentChk	
31	F_DT01 333 CsPresentChkSub	
32	F_DT01 340 Base	
33	F_DT02 010WebKykImp	
34	F_DT03 010GazoScan	
35	F_DT03 020GazoScanSearch	
36	F_DT03 030GazoScanSearchSub	
37	F_DT04 010DelKykOut	
38	F_DT05 010WebDataOut	
39	F_DT05 020Upload	

### テーブル使用可否一覧

項目	テーブル名	入金業務 使用可否一覧
1	TM B2INFO	○
2	TM BIWAREPASSWORD	○
3	TM BIWAREPATH	○
4	TM BONUSPOINT	○
5	TM CANCEL REASON	○
6	TM CANCEL UNIT	×
7	TM COURSESTOP	○
8	TM CS PRESENT	×
9	TM CS PRESENT_CHK	×
10	TM DAILYDM	○
11	TM DAILYDM COURSE	○
12	TM DAILYDM COURSE_CS	○
13	TM DAILYDM EVENT	○
14	TM DAILYDM GOODS D	○
15	TM DAILYDM GOODS_H	○
16	TM DAILYDM MASTER	○
17	TM DM BASE	○
18	TM DM EVENT	○
19	TM ES_RFMA イット	×
20	TM ES_TITLE	×
21	TM ES_コミュニケーター	○
22	TM ES_コミュニケーターグループ	○
23	TM ES_リピーター指定	×
24	TM ES_結果	×
25	TM ES_県	×
26	TM ES_顧客ツカ 一般	×
27	TM ES_顧客ツカ 共通	×
28	TM ES_顧客ツカ 代理店	×
29	TM ES_受注金額	×
30	TM ES_受注金額 代理店	×
31	TM ES_新規顧客指定	×
32	TM ES_睡眠顧客指定	×
33	TM ES_値引額	×
34	TM ES_値引額 代理店	×
35	TM ES_地域	×
36	TM ES_年齢区分	×
37	TM FILEPATH	○
38	TM GOODSFRANK	○

### 3. マイグレーション（他社事例）

#### (1) マイグレーション概要

- ◆ VB6/VB.Net 2002 で作成されたアプリケーションを VB.Net 2019 へ移行（マイグレーション）し、現状と同様の機能を実現します。
- ◆ 移行対象のシステムは以下の通りです。

項番	システム名	開発言語	サードパーティ製品	帳票出力
1	Aシステム	VB6.0	—	Excel
2	Bシステム	VB6.0	TrueDBGrid	SVF
3	Cシステム	VB.Net2002	—	CrystalReports
4	Cシステム	VB6.0	—	Access MDB

# 3. マイグレーション（他社事例）

## (2) Visual Basic マイグレーションの特徴

Visual Basicのバージョンアップは内包された変換ツールにて変換が可能です。

しかし、その変換率、現行再現率には限界があり、**エラーやワーニングメッセージすら出力されない、隠れた不具合**を多く残してしまいます。

また、**3rdパーティー製のActiveXなどは命令が大幅に変更**されております。

### ■ 隠れた不具合事例 1

- ・カーソルの移動順が異なる
- ・表示時、カーソルが当たっていない
- ・IME制御が異なる
- ・最大桁を超えて入力できる
- ・Gridの表示／動作が異なる
- ・帳票プレビュー時にViewerの表示が異なる
- ・帳票のレイアウトが異なる

### ■ 隠れた不具合事例 2

#### ・ 変換前

オーソリ処理料	¥0.00
ヘルプデスク利用料	¥0.00
DLLカード会社情報更新料	¥0.00
DLL端末情報月間維持費	¥0.00



#### ・ 変換後

オーソリ処	
ヘルプデスク利	
DLLカード会社情報	
DLL 端末情報月間	

表示しきれしていない

¥0表示がされなくなった

弊社では蓄積してきたノウハウで変更点を把握しており、変換作業に反映すると同時に、変更内容に問題が無い事を**比較検証テスト**（画面、帳票、データコンペアなど）により実証いたします。

また、ツールによる高い**移行品質**を実現することは当然ですが、実際の運用と同等のデータ、環境、操作を再現し、現行と移行後システムの出力結果を網羅的に比較することで、移行後システムの**稼働品質**を実現します。

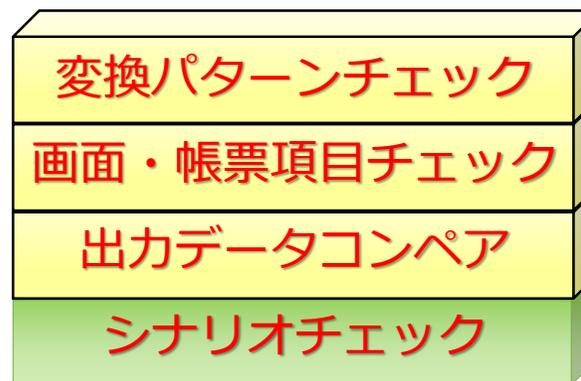
**移行後の安定稼働を視野に入れた、ワンランク上のシステム品質を保証するものです。**

# 3. マイグレーション（他社事例）

## （3）弊社の比較検証テスト

通常の単体・結合テスト

システムズの比較検証テスト



- 全ての単体テスト実施はコスト増
- モグラたたきのテストでは品質低下



長年の経験から導き出した  
品質・効率の良い  
「比較検証テスト」

# テスト工数を大幅削減

### 3. マイグレーション（他社事例）

#### ◆変換パターンチェック

お客様資産をMSアップグレード後、変換エラー個所を弊社ツールにて変換実施します。  
ツールによる変換では、同じエラーに対し、同じ変換を行うため、1か所で正しく変換され、動作すれば、他の個所も正しく動作します。  
比較検証テストでは、変換パターンに対してカバレッジを取るよう、各変換パターン毎に最低1個所は変換個所のロジックを通す単体テストも実施し、変換パターンの正しさを確認します。  
※手変換・代替新規については、すべて単体テスト実施

(例) パターン分類表

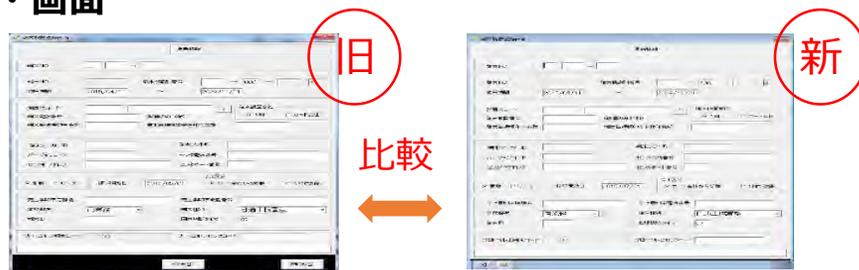
     の画面に対し、最低1個所は単体テストを実施

No	変換パターン	A画面	B画面	C画面	D画面	E画面	F画面	...
1	ComboBoxコントロールのLockedプロパティ変更	2		3	8			
2	ItemDataプロパティ変更	1	27		2		81	
3	Loadステートメント変更	1	1			1		
4	AddressOf 関数delegate追加			41		15		
	...							

# 3. マイグレーション（他社事例）

## ◆画面・帳票項目チェック

### ・画面



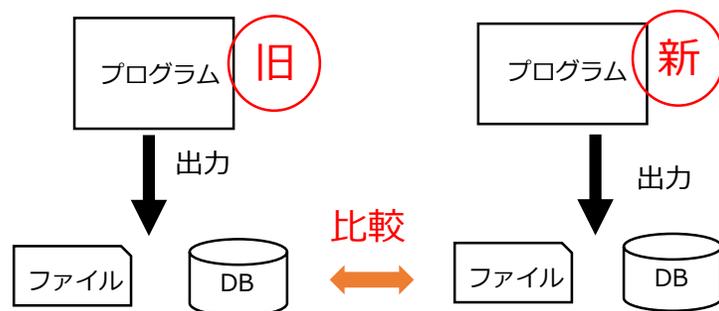
コントロールの配置、フォント、移動順、入力規制、IMEモードなどのフォーム確認とボタンやコンボボックスの動作確認を行います。

### ・帳票



帳票のプレビュー結果及び印刷結果（PDF化）を比較し、文字切れや改行位置の違いがないことを確認します。

## ◆出力データコンペア



処理後の出力結果にてデータのコンペアをとり、違いがないことを確認します。データベースも、更新したテーブル内のデータを比較して確認します。

# 3. マイグレーション（他社事例）

## ◆シナリオチェック

お客様が実施される受入テストシナリオの一部を受領し、業務に沿った新旧比較テストを実施します。

比較検証テスト		XXXオペレーションシステム 加盟店管理画面		初期画面		担当者		日付		頁No.	
記載内容		1. 現行環境、2. 新環境、3. 手順、4. 特記事項		作成		〇〇〇〇				1	
更新											
プログラムNO	FXXXX999	テスト管理NO	0001	処理形態	オンライン	試験内容	初期表示（新規）				
1. 現行環境						2. 新環境					
3. 手順		<ul style="list-style-type: none"> <li>FXXXX999 加盟店管理検索画面にて「新規登録」ボタンを押下する。</li> <li>デザインを確認する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">⇒OK 2015/4/21</p>		4. 特記事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>初期値はiniファイルの内容に従うこと。  <a href="#">「別紙1.iniファイル」シートを参照。</a></li> <li>クレジット請求区分については変換仕様書No12（問題なし）</li> </ul>					

- ◆ 現行システムの可視化を行う中で抽出した対策が必要な課題に対して、要件を確定し、システムの機能改善を実施します。

（取組むべき課題の例）

- ・ 人手でシステム間連携をしている個所について、自動連携させる機能を追加する。
- ・ 3拠点別のDBを統合する。
- ・ 選択項目の中から、現在は使用していない項目を削除する。

# 5. 役割分担（他社事例）

## （1）現行業務／システムの可視化・スリム化

○：主担当 △支援

項目	工程	作業内容	役割分担			備考
			お客様	SYS	ワジョア	
1	業務／システム全体の可視化	ヒアリング対象部署の決定	○	△		ヒアリングの日程調整はお客様にて実施
		ヒアリング用ラフスケッチ作成		○		
		各部署へのヒアリング実施	△	○		1回につき1～2時間程度のヒアリング実施
		ヒアリング結果の整理		○		システム連携図・システム構成一覧・課題を整理
		課題の対策方針を検討／決定	○	△		弊社にて方針案を検討／提案
2	不要な機能／資産の可視化	各システムのメニュー一覧作成		○		各システムのメニューにあるボタンを一覧化
		各部署へ使用可否の確認	○	△		メニューのボタン単位で未使用機能を確認
		未使用機能に対し削減可否調査		○		未使用機能の中で削減可能なプログラムを調査
		未使用資産の分析		○		プログラムの的に使用されていない資産を確定
		重複資産の分析		○		完全一致の資産を確定
		削減工数の見積	承認	○		プログラムのスリム化にかかる工数を算出
3	プログラムのスリム化	不要な機能／資産の削減		○		不要なプログラムを削減
		動作確認テスト		○		削減したプログラムが正しく動作するか確認

※ 「各部署へのヒアリング実施」「ヒアリング結果の整理」は複数回、繰返し実施する。

# 5. 役割分担（他社事例）

## (2) マイグレーション

○：主担当 △支援

項目	工程	作業項目	作業内容	役割分担			備考
				お客様	SYS	ワジョア	
1	開発準備	開発計画	マイグレーション計画書作成	承認	○		マイグレーション計画をご報告
		開発環境構築	テスト環境の構築（現行、新）	△	○	○	現行は仮想環境受領を想定（データ含む）
2	移行性検証	変換／設計	アップグレード			○	全資産のアップグレード実施
			エラーパターン分析／変換設計			○	
			共通機能・対象機能の変換			○	5%程度の資産を対象に変換予定
		比較検証テスト	標準テスト仕様書作成			○	
			比較検証テスト実施	△	受入	○	一部テストシナリオを作成いただく
		結果報告	移行性検証結果報告書作成	承認	○		移行性検証の結果をご報告
3	量産	全体変換	変換			○	
		比較検証テスト	標準テスト仕様書作成			○	
			比較検証テスト実施	△	受入	○	一部テストシナリオを作成いただく
		結果報告	マイグレーション結果報告書作成	承認	○		マイグレーションの結果をご報告

# 5. 役割分担（他社事例）

## （3）機能改善

○：主担当 △支援

項目	工程	作業内容	役割分担			備考	
			お客様	SYS	ワジョア		
1	要件確定	改修イメージ作成		○		改修・新規 対象機能別に修正概要書作成	
		要件確定	○				
2	開発	開発計画書作成	承認	○		開発に必要な設計書作成・既存設計書の修正	
		詳細設計書作成		○			
		製造・単体テスト実施		○			
		結合テスト実施	△	○			全体の疎通動作確認
		システムテスト実施	△	○			運用に沿ったテストを実施
		テスト結果報告書	承認	○			テスト結果をご報告

## （4）受入・リリース

○：主担当 △支援

項目	工程	作業項目	作業内容	役割分担			備考	
				お客様	SYS	ワジョア		
1	受入・リリース	受入テスト	受入テスト実施	○	△			
		リリース準備	移行計画書作成		○	△		
			移行ツール・手順書作成		○	△		
			移行リハーサル・移行判定		○	△		
			システム移行		○	△		
			移行結果報告書作成		○	△		

## 6. お客様からの提供物件について（他社事例）

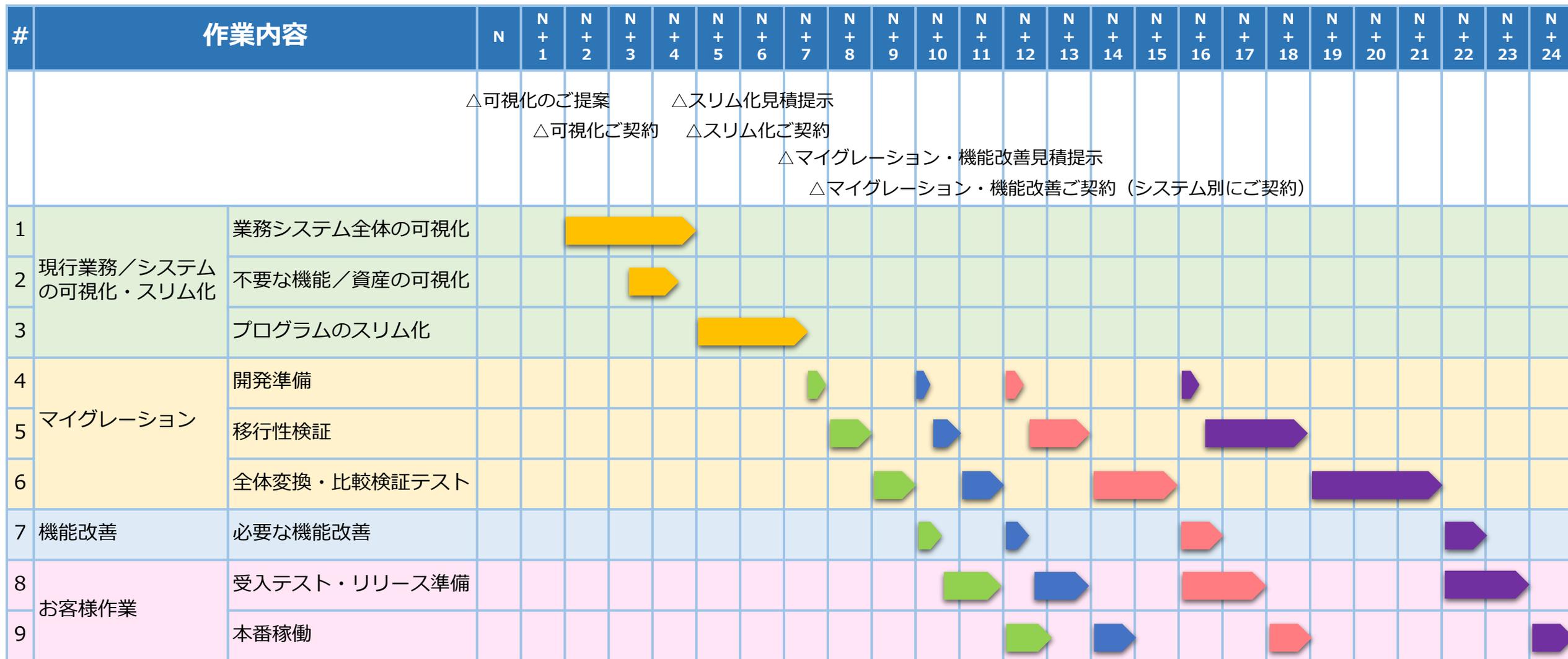
マイグレーション作業では、以下のご提供をお願い致します

資材名	単位	提供期限	備考
現行資料（ソース、現行仕様書、インストーラファイルなど）	一式	マイグレーション作業開始	仕様書等のドキュメントは参考情報として参照しますので、最新である必要はありません。
現行システム環境（仮想環境又は構築手順情報）	一式	マイグレーション作業開始	
テストデータ	一式	比較検証テスト開始	個人情報等が含まれる場合、データのマスキングをお願いします。
テスト手順書または、テスト手順情報	一式	比較検証テスト開始	

# 7. 納品物件について（他社事例）

項番	工程	資材名
1	現行業務／システムの 可視化・スリム化	システム連携図と課題の相関図
2		システム一覧（OS・言語・DB・サードパーティ製品情報）
3		課題一覧（対策すべき課題の方向性検討結果を含む）
4		スリム化後成果物 （プログラムソース / 実行モジュール）
5	マイグレーション	変換後成果物 （プログラムソース / 実行モジュール）
6		結果報告書
7	機能改善	要件定義書
8		設計図書（開発に必要な設計書）
9		機能改善後成果物 （プログラムソース / 実行モジュール）
10		テスト結果報告書

# 8. スケジュール案 (他社事例)



△可視化のご提案      △スリム化見積提示  
 △可視化ご契約      △スリム化ご契約  
 △マイグレーション・機能改善見積提示  
 △マイグレーション・機能改善ご契約 (システム別にご契約)

▶ : Aシステム    ▶ : Dシステム    ▶ : Cシステム    ▶ : Bシステム

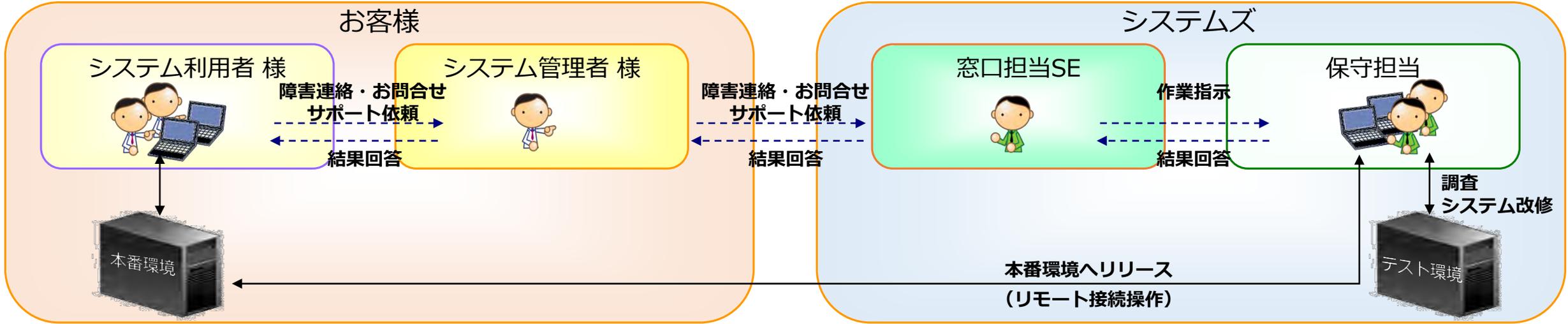
# 9. 運用保守について

- ◆ 弊社の保守サービスメニューは以下となっております。  
基本的には、「リモート支援型維持保守サービス」を推奨しております。

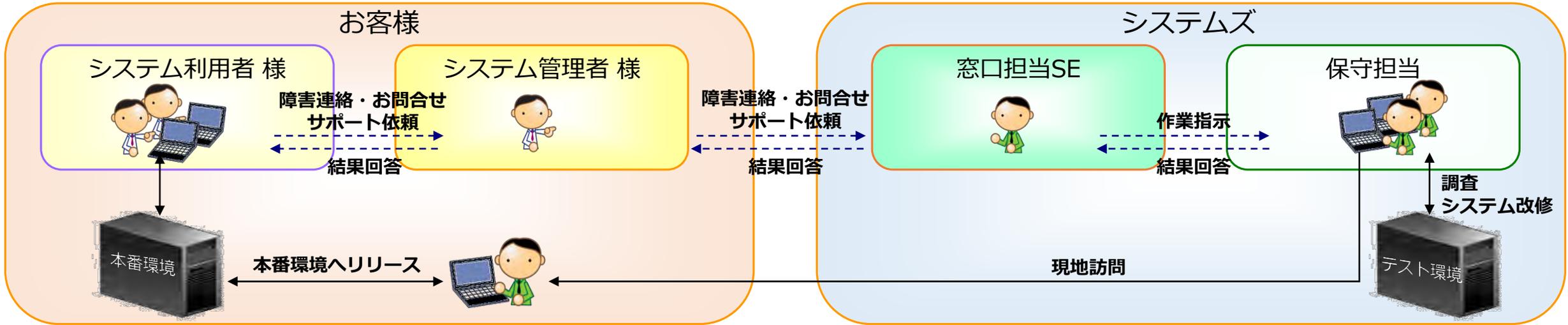
No	サービス名	サービス概要
1	リモート支援型 維持保守サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 弊社内にお客様環境と同様の環境を構築</li><li>・ 保守メンバーを待機させ、お問合せ時に弊社内の環境で調査／対策を実施</li><li>・ 本番環境へのリリース等はリモート対応</li><li>・ 決められた作業時間内のサポート ※作業時間に応じて費用を決定</li></ul>
2	オンサイト支援型 維持保守サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 弊社内にお客様環境と同様の環境を構築</li><li>・ 保守メンバーを待機させ、お問合せ時に弊社内の環境で調査／対策を実施</li><li>・ 本番環境へのリリース等はお客様先へ訪問しオンサイト対応</li><li>・ 決められた作業時間内のサポート ※作業時間に応じて費用を決定（移動時間も作業時間）</li></ul>
3	常駐支援型 維持改善サービス	お客様先へ弊社メンバーが常駐し、トラブル対応はもちろんのこと、課題提起～システム改善を実施 更なる業務品質向上、業務効率向上へのサポートを行う

# 9. 運用保守について

## ◆リモート支援型維持保守サービス

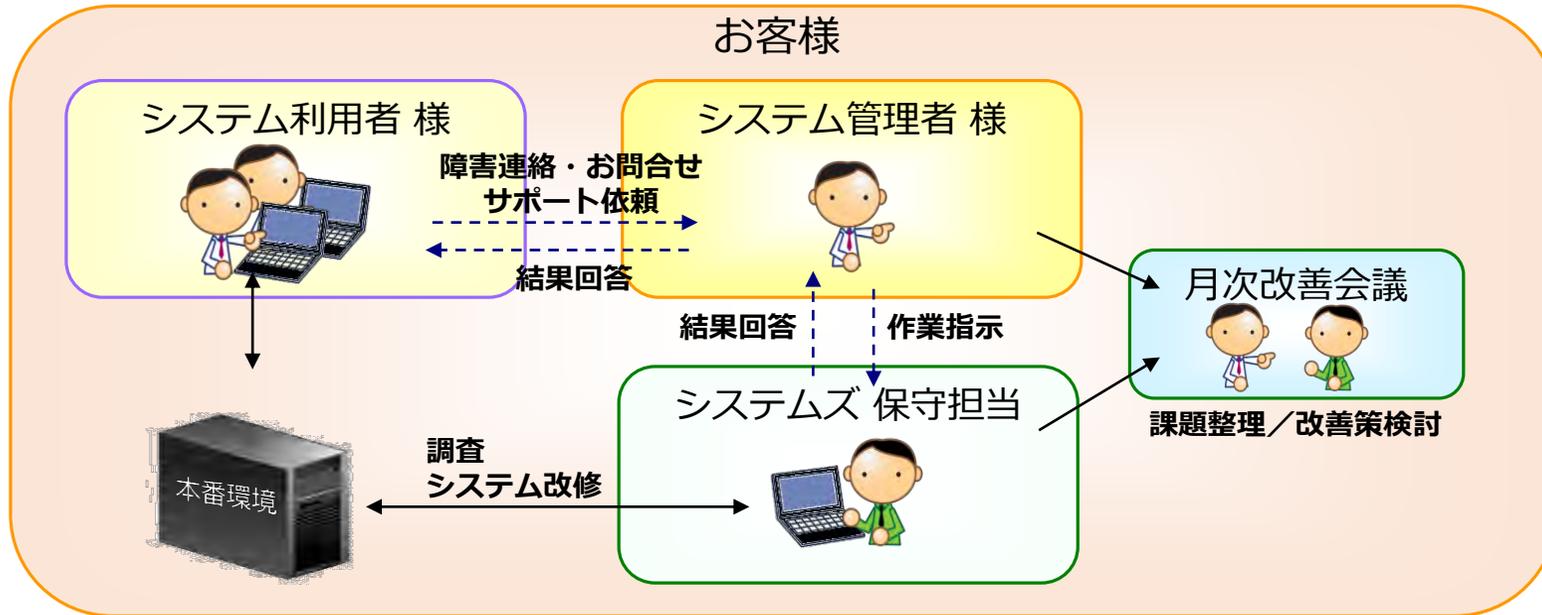


## ◆オンサイト支援型維持保守サービス



# 9. 運用保守について

## ◆常駐支援型維持改善サービス



# 10. 弊社のプロフィール概要

## (1) 当社の会社概要

商号：株式会社システムズ

代表者：代表取締役社長 小河原隆史

所在地：東京都品川区西五反田7-24-5

TEL 03-3493-0033 FAX 03-3493-2033

設立：1969年(昭和44年)12月24日

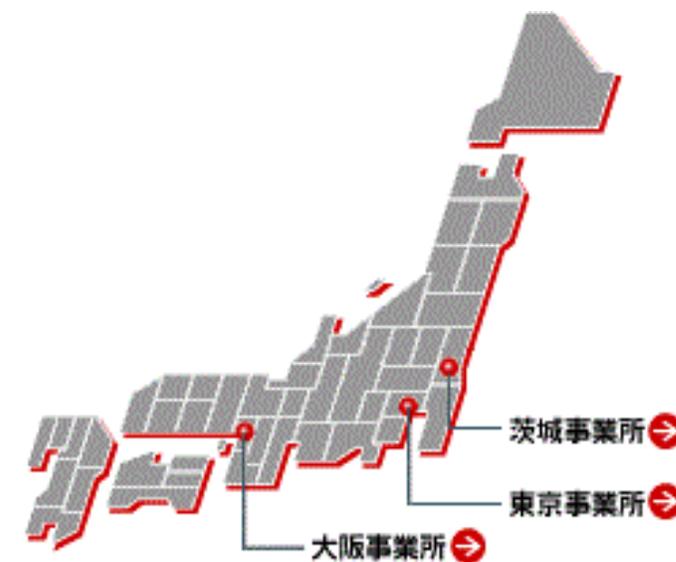
社員数：約260名(2019年4月時点)

資本金：1億

拠点：東京事業所 東京都品川区西五反田7-24-5 約140名  
茨城事業所 茨城県日立市水木町2-43-15 約60名  
大阪事業所 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16 約60名

URL：<http://www.systems-inc.co.jp/> (コーポレートサイト)

<http://migration.jp/> (マイグレーション特設サイト)



## (2) 事業概要

IT基盤の継続的進化を支えるシステムズの6つの事業  
システムライフサイクルをトータルサポート致します

### ①. IT総合診断（コンサルテーション）

お客様の経営課題やニーズを抽出  
最適解の提案を行う

### ②. マイグレーション

現資産を活かした  
システム構築を  
低コストで実現する

移行・変換

### ③. システム開発

様々なニーズに対し  
的確なソフトウェアを  
開発する

新規開発

### ④. パッケージ

開発力とパートナー  
連携を活かし、総合的な  
業務の支援を行う

既製品導入・カスタマイズ

### ⑤. ITインフラ

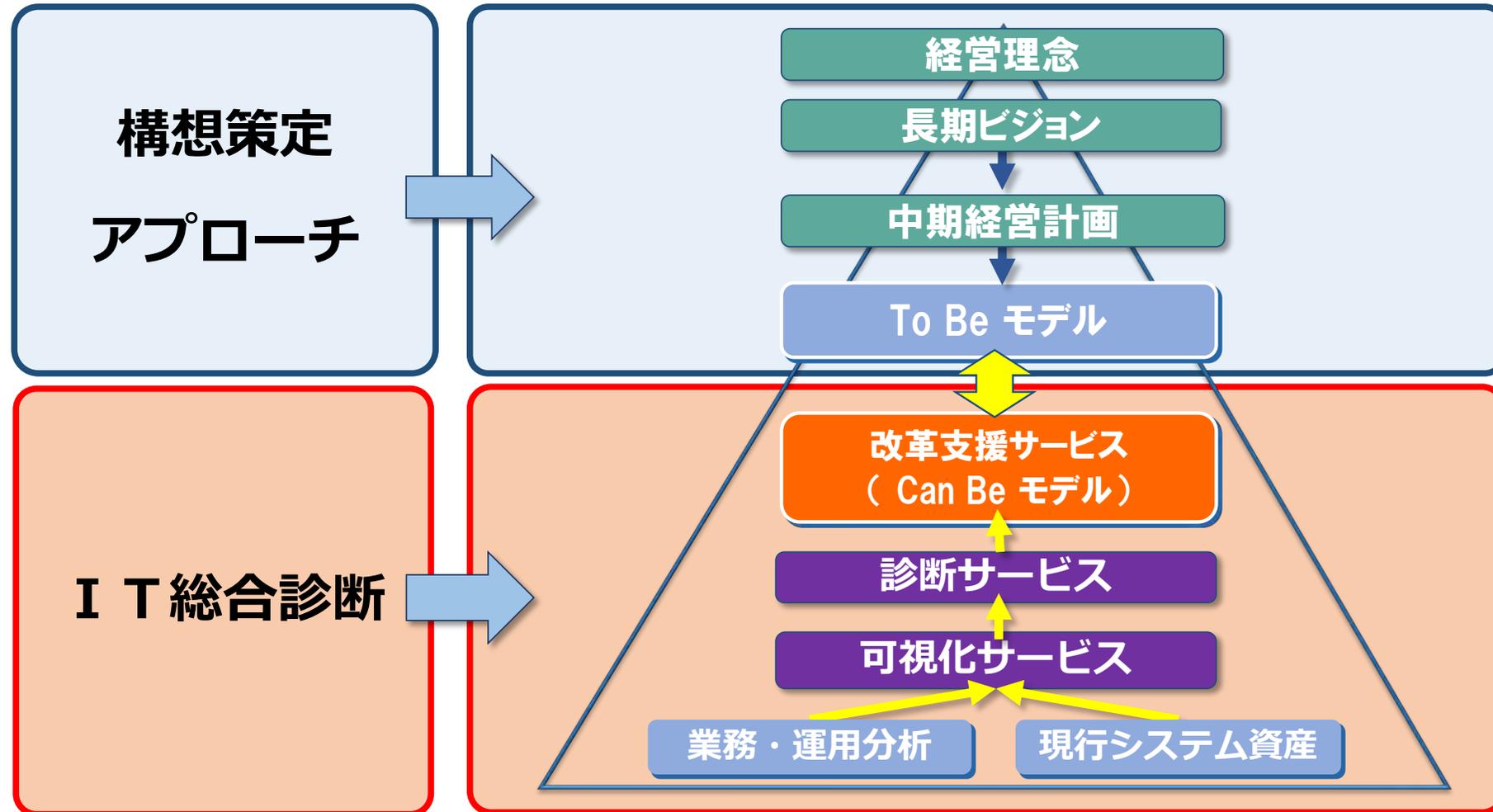
サービスレベルに応じた  
インフラ基盤設計・構築・  
保守・運用管理を行う

### ⑥. 運用保守・維持改善

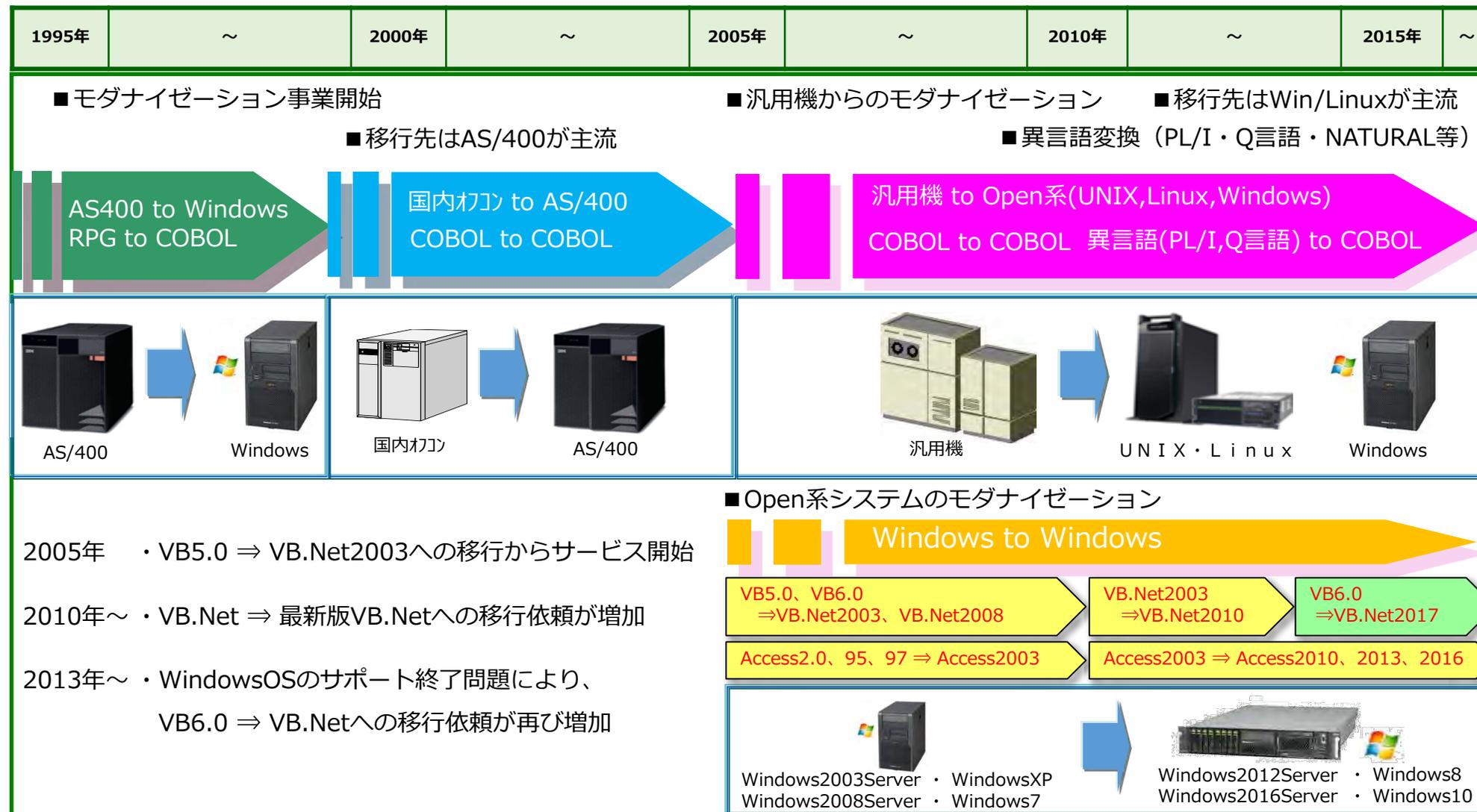
システムが安定して稼働できるよう、  
継続して運用保守 及び 維持改善を行う

# 10. 弊社のプロフィール概要

## (3) IT総合診断（コンサルテーション）の領域



## (4) マイグレーションの変遷



# プロジェクトの成功へ



# 今後とも宜しくお願い申し上げます